会社情報／株式情報

会社概要（2025年8月31日現在）

商号	株式会社SHIFT
代表者	代表取締役社長　丹下　大
本社	〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー TEL：03-6809-1165
設立	2005年9月
資本金	21百万円
事業内容	ソフトウェアの品質保証、テスト事業
取得特許	特許第5787404号 コンピュータプログラムのテスト仕様を生成するための装置及びプログラム 他24件

役員（2025年11月25日現在）

代表取締役社長	丹下　大
取締役会長	佐々木　道夫
取締役	小林　元也
取締役	村上　誠典
取締役	元谷　芙美子
取締役	Amy Shigemi Hatta
取締役 監査等委員	新井　優介
取締役 監査等委員	中垣　徹二郎
取締役 監査等委員	谷中　直子

（注）村上誠典、元谷芙美子、Amy Shigemi Hatta、新井優介、中垣徹二郎及び谷中直子は、社外取締役であります。

株式の状況（2025年8月31日現在）

発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式の総数	267,500,670株
株主数	22,061名

上位10名の株主

株主名	持株数	持株比率
丹下　大	81,646千株	30.62%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	29,924千株	11.22%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	21,231千株	7.96%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	19,345千株	7.25%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	7,741千株	2.90%
JP JPMSE LUX RE BARCLAYS CAPITAL SEC LTD EQ CO	3,468千株	1.30%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口・75876口）	3,298千株	1.23%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	2,514千株	0.94%
小林　元也	2,248千株	0.84%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	2,134千株	0.80%

株式分布の状況



株主メモ

事業年度	9月1日から8月31日まで
定時株主総会	毎年11月
基準日	8月31日
剰余金の配当の基準日	8月31日及び2月28日 （閏年においては2月29日）
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱　第29号
電話照会先	0120-232-711（フリーダイヤル）
公告掲載方法	当社ホームページに記載しております。 https://www.shiftinc.jp/

SHIFT

BUSINESS REPORT 2025年 8月期

2024年9月1日～2025年8月31日
証券コード：3697

ここがポイント！

新たな成長フェーズへ向け、組織最適化と、収益性改善を推進。結果、売総率は、上場来最高値を更新

「SHIFT3000」の早期達成に向けた経営基盤の強化を継続

AIネイティブカンパニー元年から加速、AIの社内定着力と外販力を発揮！

2005年の創業から20年。
今もなお変わらない「変わり続けること」へのこだわりと熱量。

各種の構造改革を経て、次の成長軌道に向けた未来を切り拓く。

構造改革を経て、次の成長軌道へ
確かな変化で未来を切り拓く1年に



株主の皆様におかれましては、ますますのご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社2025年8月期（2024年9月1日～2025年8月31日）の
ビジネスレポートをお届けいたします。

2025年8月期を振り返って

2024年8月期に大きく顕在化した、顧客ニーズと社内人材ポートフォリオのミスマッチによるエンジニア稼働率の低下、およびそれに伴う利益率の悪化を最重要課題と位置づけ、今期はその改善と構造的な立て直しに全力で取り組みました。その結果、社内の仕組みや運用体制を大きくアップデートし、売上総利益率は上場来最高となる34.7%を達成、期初に掲げた33.5%を1.2ポイント上回る成果で着地することができました。事業面では、堅調な顧客環境を背景に、稼働率改善を機に再構築した「アサイン力（最適配置力）」が定着し、下期からは高い経験値をもつハイスキルメンバーを中心に人材採用を再加速させました。これにより、2026年度8月期以降は、再び売上成長と顧客シェア拡大に注力できる体制が整ったと考えております。
また、2025年1月には当社の経営理念や事業方針、今後の成長戦略に共感し、中長期的にご支援いただける投資家層の拡大を目指し、当社株式を15対1の割合で分割いたしました。加えて、2025年10月には、日本の代表的な株価指数である日経平均株価（Nikkei 225）の構成銘柄に選定され、上場企業約4,000社の中から選出されたことは大変光栄であると同時に、その責任と公器性の重みを改めて実感しております。2025年8月期は、2009年のソフトウェアテスト事業開始以来、立ち止まることなく走り続け、積み重ねてきた成長の軌跡をふまえ、中長期の視点で次なる成長フェーズへと向かう節目の年となりました。組織体制の再構築や技術基盤の拡充など、未来の飛躍に向けた土台づくりに注力した1年であったと感じております。

2026年8月期の方針と取り組み

2026年8月期は、前期で築いた強固な事業基盤を土台に、さらなる成長加速と企業価値向上の実現を目指してまいります。2026年8月期の業績予想は、売上高1,500億円、調整後営業利益200億円、親会社株主に帰属する調整後当期純利益135億円 と設定いたしました。年間200億円の売上成長を起点に、さらなる成長加速を実現すべく「確変（確実な変化）」を推進してまいります。また、当社の成長戦略の柱であるM&Aについては、のれん償却費や顧客関連資産償却費、関連経費などを調整対象とし、本源的な利益成長をより明確にお伝えできる形で開示を行ってまいります。

■4つの確変（確実な変化）

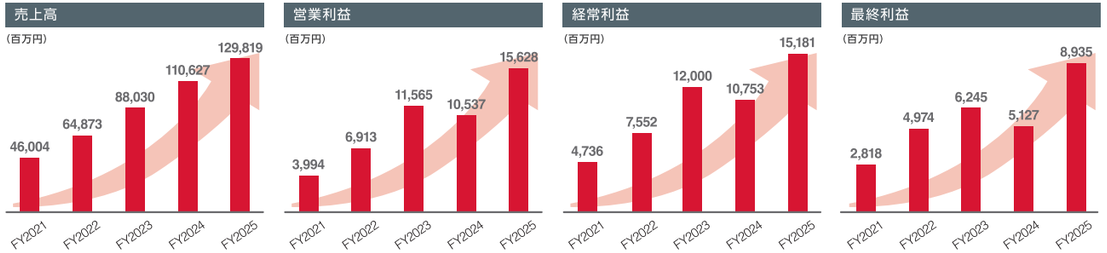
中期的な成長基盤をさらに強固にするために、以下の4領域において着実な変革を進めます。

1. 採用 年間採用数の拡大と、人材ミックスの最適化
2. 営業 顧客課題に寄り添い、伴走する営業体制の強化
3. サービス 上流コンサルティングからプロジェクト全体を掌握する体制拡充
4. M&A 既存事業の強化と新たな成長を加速させる戦略的M&Aの推進

「日本をより強くする」ために、SHIFTは“変化を恐れず進化し続ける企業”でありたいと考えています。新たな価値を生み出し続けることで、株主の皆様、従業員、お客様、そして社会から信頼される企業となる。その決意を胸に、SHIFTグループ一丸となって挑戦を続けてまいります。引き続きのご支援とご愛顧を賜りますよう、皆様心よりお願い申し上げます。

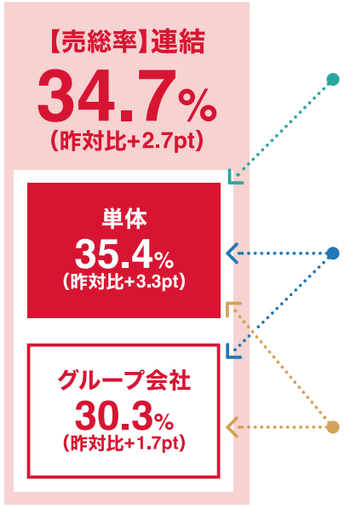
代表取締役社長　丹下 大

2025年8月期の業績については、前期（2024年8月期）から取り組んでいた、プロジェクトへのメンバーアサイン適正化などの施策や事業部制などの営業体制強化により、売上高1,298億円、売上総利益率34.7%となりました。また、採用効率の向上などにより販管費比率は前期と同等水準で着地したことから、営業利益156億円（昨対＋48.3%）、経常利益151億円（昨対＋41.2%）、最終利益89億円（昨対+74.3%）を計上することができました。



■ 2025年8月期の振り返り

前期はさまざまな要因から売総率の低下を経営課題として認識し、期中から収益性の改善について、課題分析から施策立案と実行推進を行ってまいりました。その成果は、確実に実り、今期は上場来最高水準の売総率となりました。具体的な施策と成果は以下の通りです。



事業部制による最適化

単体では、2025年8月期より組織変更を実施。お客様の業種ごとに事業部を配置する「事業部制度」を導入し、各事業部内に営業とデリバリー部門を包括いたしました。これにより営業とデリバリーが密に連携をとれる体制が整い、お客様のニーズにスピード感をもって対応することで最適化を推進できました。

案件の採算性が向上

単体では、ハイレイヤー採用が順調に進んだことと連動し、より高度なご提案をすることでお客様に提供できる価値が向上。それに伴い、いわゆるエンジニア単価も上昇し、高単価層の売上占有率も向上しました。また、グループ会社においても、案件採算の見直しを行い、低粗利だったお客様の割合を前年度比で9.4pt改善することができました。

稼働率の改善

事業部制度を導入したこととあわせて、各組織を超越したアサイン（配置）を行う専属の組織も組成いたしました。このアサイン専属チームでは、単体の組織だけでなく、全グループ会社を横断的に管理することにより、エンジニアの稼働率は単体で1.6pt、グループ会社では0.7pt改善することで売上総利益率の改善に貢献いたしました。

～AIは脅威か？ビジネスチャンスか？～

昨今、私たちの日常生活になくてはならないIT機能として定着してきた生成AI。その進化のスピードは驚くほど早く、ビジネスにおけるゲームチェンジャーとして従来のルールを大きく変革しはじめています。そのような中、「SHIFTの事業の根幹である“ソフトウェアテスト”がAIに取って代わられるのではないか」、そんなお声もいただきます。
それに対し、私たちは、「AIは心強い味方です」と確信をもってお答えしています。SHIFTにとって、AIは市場を奪いあう脅威ではなく、私たちの業務を効率化させ、アウトプットの質を格段に上げてくれる有効な「手段」。テストにおいてもその他サービスにおいても、「人」と「AI」を組みあわせたソリューションが今後の事業成長に必要な武器となっていきます。
AIの有効な活用に頭を悩ませる企業も多いなか、「AIネイティブなSIカンパニー」として先進的なトライをつづけるSHIFTのAI活用状況について、ご紹介します。

SHIFTの強みを活かした、AI活用の取り組み

SHIFTでは、従来より会社の状況を正しく把握し、正しい経営判断を即座に下すために、事業のあらゆるプロセスをデータ化。膨大に蓄積されたデータベースは他社にない強みであり、そこに持ち前の高い開発力を掛けあわせることで、社内におけるAI活用・AIサービス開発を最大化させています。

社内データベース（2025年8月末時点）※注釈のないものは単体実績　独自に蓄積

全社：AI活用の定着と業務効率化	従業員数 7,423人	非エンジニア割合 約12%	E-learning回答率 100%
営業：ビジネス機会拡大	顧客リード数 約15万人	顧客社数 3,367社	顧客CSデータ 7,503件
※1 デリバリー：生産性向上／売総率の増大	検証済製品 4,113件	不具合検出数 約200万件	CAT検定受験 約12万人
人事：採用効率の最大化／離職抑止	年間採用エントリー数 約14万人	エンジニアDB 約27万人	人事管理データ 一人に対して 450項目
管理：販管資産の最大化	M&Aソーシング ※2 累計 777件	IR面談数 ※3 累計 2,611人	総合DBで一括管理

※1 デリバリー：サービスを提供する部門　※2 FY2022-FY2024の累計　※3 上場以降FY2024までの累計

×

AI技術／AIツール　内製開発

社内AIチャット GAI Chat	ノープロンプト生成AIツール 天才くん
議事録解析AI	商談ロープレAI評価
RFP要件自動検出	テスト設計AI化
AI採用アナライザー Resumiru	対話型AIメンター mentai
同時通訳AI	資料英訳AI

AI徹底活用による「SHIFT3000」

「SHIFT3000」達成に向けて、AI外販と内製における業務プロセスの改革により、売上高の成長とともに、社内の生産性向上に基づいたコストの最適化を追求してまいります。

	FY2025実績	「SHIFT3000」目標
売上高		3,000億円へ
売総率	34.7%	38%
販管費率	22.6%	16%
営業利益率	12.0%	22%

AIを活用したソフトウェアテストのさらなる進化

多岐にわたる顧客業界において蓄積してきた、200万件を超える不具合データを活用し、テスト特化の独自生成AIモデルを開発。テストプロセスに適用することで、「人」と「AI」を組みあわせSHIFTのテスト品質はそのままに、さらに効率的に生産性高くテストサービスの提供が可能となりました。

一般的な生成AIモデルと独自AIモデルの比較

ソフトウェアテストを実施する際、どんなテストが必要かを過不足なく適切に設定するために必要な「テスト観点」。SHIFTでは、一般的な生成AIモデルと独自AIモデルによる、テスト観点生成のパフォーマンスを比較し、継続的に改善。「AIを活用したテスト」が広く一般化する世界をリードしていきます。

SHIFT社内での実務検証事例結果より

指標	一般的モデル	独自AI モデル	効果	
精度(正解率)	0.2557	0.5028	2.0倍	精度高!
速度(Sec/100件)	528	18	29.3倍	速い!
コスト($/100件)	1.2	0.028	-98%	コスト低!

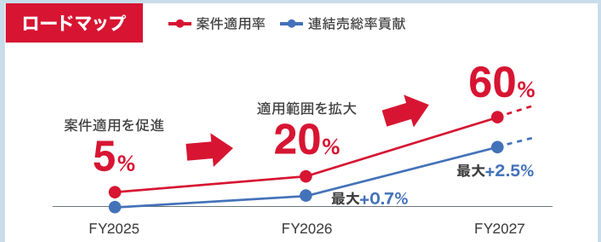
SHIFTだからこそ可能な独自AIモデル！

一般に出回ることのないテストデータを豊富に保有、テストを知り尽くし、
広く関連技術をもつSHIFTだからこそ、圧倒的に精度の高い独自AIモデルが完成

今後のアクション

**実案件での適用率を
しっかり伸ばしながら、
利益貢献を目指す**

AI精度 向上 ↑　使いやすさ 向上 ↑　適用対象 拡大 ↑



生成AI 社内活用率90%！誰もがこぞって使うAIツール「天才くん」のヒミツ

ノープロンプト生成AIツール 天才くん

AIスキルがなくても、エンジニアでなくとも簡単に使えて、各社・各部署特有の業務ニーズにカスタマイズできるノープロンプト生成AIツール「天才くん」。AI、ITに知見がない人でも、気軽に使えるよう設計されており、SHIFT社内では、エンジニア所属部署のみならず全社的に活用されています。楽しみながら業務効率化がどんどん進む、「天才くん」の特徴をご紹介します。

「天才くん」の特徴

特徴1　「天才くん」をつくるのも、使うのもとにかく操作が簡単

つくる
作成画面の指示に沿って、実現したいことを入力するだけ。AIにわかりやすい指示の書き方は、専属部隊がサポート。

使う
AIの知識は、まったく不要！各業務の自動化や効率化を「天才くん」がサポートします。



自分のつくった「天才くん」に好きなアイコンを選んで設定できるのも、愛着がジワジワわいてきます。



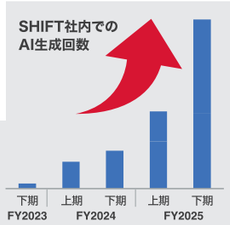
特徴2　それぞれの業務に特化した「天才くん」をつくることができる

ありとあらゆる部門のニッチで細かな業務プロセスから、組織内の円滑なコミュニケーションまで、企業・部門特有のどんな業務にも対応できます。

例えばこんな業務まで…
- 競合調査用Google検索キーワード作成くん
- 会議発言サポートくん

特徴3　社内向けに特化された、クローズドな環境

再学習禁止、セキュリティ万全の環境下で、安心・安全な利用ができます。



AI社内活用 継続拡大中！
計1,491※1 の業務プロセスをAI化
生成AI活用率 90%※1
FY2025 1.5億円の削減効果

社内で徹底活用し、ブラッシュアップしたAIサービス **外販開始**
「生成AI360°」（天才くん＋導入支援／定着支援）
「天才くん for 人事」
「天才くん for 情シス」
FY2025 5.9※2億円@月のAI関連売上

※1 2025年8月時点　※2 単月最高金額